



あかしの社会福祉

No.85 2015. 1.
 編集・発行
 社会福祉法人
明石市社会福祉協議会
 〒673-0037 明石市貴崎1丁目5番13号
 市立総合福祉センター内
 ☎(078)924-9105
 http://www.akashi-shakyo.jp

明石市社会福祉協議会

検索



○年頭のあいさつ○



理事長 和田 満

あけましておめでとうございます。お健やかに新しい年を迎えられたことと存じます。
 平素は、市社会福祉協議会の地域福祉活動をはじめ様々な社会福祉活動にご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は全国各地で多くの自然災害が発生し、多くの人命や貴重な財産が失われるなど、甚大な被害が発生した1年となりました。兵庫県においても、丹波市で豪雨災害があり、当協議会からもボランティアセンターの運営支援やボランティア派遣、また資機材の提供を行うなど、できる限りの支援を実施してまいりました。当協議会では、今後も継続して被災地の復興に協力するとともに、本市における万一の災害に備えて職員の資質向上にも努めているところです。

本年も皆さまのご協力のもと、地域福祉の向上とともに災害に負けない地域づくりに、役員一丸となって全力で取り組んでまいりますので、さらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりましてより良い年でありますよう祈念申し上げます。

社会福祉法人明石市社会福祉協議会 理事長 和田 満
 役職員一同

目次

- 市立総合福祉センター事業紹介・・・P2 ボランティアフェスタの報告、災害ボランティア募集・・・P3
- 善意銀行・表彰・・・P4 社協ホームページのご案内、徘徊・見守りSOSネットワーク事業のご案内・・・P5
- 市立総合福祉センターからのお知らせ、(仮称)明石市後見支援センター事業について・・・P6
- アートシップ2014の報告、赤い羽根共同募金のお礼・・・P7 インフォメーションほか・・・P8

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 回 | | | | | | | | | | |
| 覧 | | | | | | | | | | |

市立総合福祉センターの事業紹介

★平成27年度 地域活動支援センター事業利用者募集

創作活動や日常生活訓練を提供することにより、身体に障がいをお持ちの方が能力や適応状況に応じて、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援することを目的として、下記の教室を開催します。

以下の教室について利用者の募集を行いますので、要件をご確認いただき、期間内にお申し込みください。

| | | | | | |
|-------------|----|------------|----|-------|--------|
| パッチワーク | 生花 | パソコン | 陶芸 | 童謡・唱歌 | 体操 |
| 書道 | 組紐 | 園芸 | 手話 | カラオケ | 囲碁・オセロ |
| 絵手紙 | 編物 | 七宝焼 | 点字 | 写真 | 料理 |
| スポーツ (ボッチャ) | | プリザーブドフラワー | | | |

- ◆対象者：市内在住の身体障害者手帳をお持ちの方
(※介護保険制度におけるデイサービス利用者は除く)
- ◆定員：30名程度 (※各教室により異なります。希望者多数の場合は、抽選になります。)
- ◆費用：無料 (※テキスト代、材料費は実費にてご負担いただきます。)
- ◆申込期間：2月2日 (月) ~13日 (金) の土日祝以外の9時~17時15分
- ◆申込方法：窓口または電話 (918-5660) ・ファクス (918-5661) にて受付



★にこにこ料理教室

旬の魚を使った料理をします。

- ◆開催日時：2月23日 (月) 10時~
- ◆対象者：市内在住の障がい者・高齢者とその家族
- ◆定員：20名程度
- ◆費用：1人500円 (※エプロン・三角巾持参)
- ◆申込期間：2月3日 (火) から定員に達するまで (土日祝以外) 9時~17時15分
- ◆申込方法：窓口または電話 (918-5660) ・ファクス (918-5661) にて受付。先着順。



★にこにこ水中ウォーキング教室~アクアビクス編

心身機能の維持や回復を図ることを目的に水中での簡単な有酸素運動 (アクアビクス) を行います。

- ◆開催日時：3月5日 (木) 15時~16時
- ◆対象者：市内在住の60歳以上の方及び障害者手帳をお持ちの方
- ◆定員：30人
- ◆費用：無料
- ◆申込期間：2月5日 (木) から定員に達するまで (土日祝以外) 9時~17時15分
- ◆申込方法：窓口または電話 (918-5660) ・ファクス (918-5661) にて受付。先着順。



上記の詳しい内容については、下記へお問い合わせください。

明石市立総合福祉センター

明石市貴崎1丁目5-13 TEL.078-918-5660 FAX.078-918-5661

ボランティアフェスタを開催しました！

昨年(2014)の11月15日(土)、市立総合福祉センターにおいて、「第7回 あかしボランティアフェスタ」が開催されました。改修工事の関係で、時間・規模ともに縮小しての開催でしたが、約1,000名の来場者をお迎えし、大いに盛り上がりました。また、約30名の学生ボランティアや兵庫県共同募金会のマスコット「あかはねちゃん」の参加もあり、会場に花を添えていました。

会場風景



バザー



車いす体験



喫茶コーナー



舞台発表



ボランティアのみなさんとあかはねちゃん

災害ボランティアの事前登録募集

いざという時に備えて、災害ボランティアの事前登録を受け付けています。

防災・減災に関する研修会を開催したり、災害支援のボランティア募集情報などを発信しています。登録に際して特別な資格は必要ありませんので、ぜひ登録してみませんか。

災害ボランティアって何をするの…？

主なボランティア活動の内容は以下のとおりです。

- ①災害ボランティアセンターの運営
- ②避難所での活動支援
- ③被災者のための炊き出し
- ④援助物資の整理、配分作業
- ⑤被災者地域の清掃
- ⑥その他の応急対策活動



【お問い合わせ】 地域福祉係 ☎924-9105

善意銀行

ご寄付及び物品のご提供、
まことにありがとうございました!!

(平成26年4月1日～12月31日 順不同・敬称略)

善意銀行とは?・・・皆様から寄せられた善意の金品を預託という形でお預かりし、福祉の増進を目的に社会へ還元しています。

みなさまの善意に感謝します!

金銭預託 (2,165,339円)

ボランティアグループたんぽぽの会(宮川節)、兵庫県東播磨福祉地区善意募金、スポーツクラブ21高丘西、魚の棚商店街東西振興組合、明石市高齢者大学校あかねが丘学園 陶芸クラブ、UHK(貴崎岡暮クラブ)、栗林酒店、カットサロン・ソール(渡邊善三郎)、神姫バス、善意の鍋(市役所・総合福祉センター)、匿名(11名、延べ15件)

物品預託(日用品等)

イオン明石店SC、藤本保、塩井孝全、魚住東コミセン、匿名5件

様々な団体において活用されています!

金銭払出 (450,000円)

明石障がい者地域生活支援ネットワーク(135e-net)、明石小コミセン日本語教室、西明石日本語教室、明石ろうあ協会、全国心臓病の子どもを守る会兵庫県支部、みんなでハッピーキャンプ明石地区実行委員会、明石市肢体不自由児者父母の会、福島の子どものを招きたい!明石プロジェクト、あかし点訳グループ

12月24日に、ガイアシティ西明石様より明石乳児院へお菓子の寄贈がありました。社員の方がサンタクロースに扮してプレゼントをお渡ししたのですが、乳幼児のみなさん、職員のみなさんがとても喜んでいらっしゃいました。ガイアシティ西明石様、ありがとうございました!!



表彰おめでとうございます!

(平成26年12月確認分) (敬称略)

○平成26年度秋の叙勲(緑綬褒章) ・サークルエーゼン

【活動内容】高齢者や障がい者宅の営繕・整備活動(ペンキ塗りや草抜き)のほか、高齢者への年越しそばの振る舞いや介護施設での音楽演奏などにボランティアで取り組まれた。



- 兵庫県くすのき賞: 人形劇ゆめっこ、林崎町3丁目ふきのとう、東松江むぎの会、ハートの会
- ひょうご県民ボランティア活動賞: 清水ヶ丘ゆう・あい、いなみ野学園地活明友会
- 明石市福祉功労表彰: あかねが丘学園ボランティア会、二見みのりの会
- 第39回神戸キワニス社会公益賞: ユーアイグループ

社協ホームページのご紹介

明石市社会福祉協議会のホームページをご覧になりませんか。

市社会福祉協議会では、オリジナルのホームページを作成しており、広報紙の中では十分に伝えきれない情報を、事業内容や取り組みごとに整理して閲覧できるようにしています。また、最新の情報は「トピックス」として掲載し、見てもらいやすい工夫をしています。まだ、見たことがない方は、一度のぞいてみてください。

【主な内容】

- ・ 社会福祉協議会とは
- ・ 地区社会福祉協議会とは
- ・ ボランティア
- ・ 計画及び広報
- ・ 身近な地域福祉活動
- ・ 赤い羽根共同募金
- ・ 車いす貸出事業
- ・ 各種相談
- ・ 交通アクセス
- 他

上記以外にも、さまざまな情報を掲載しています。



【お問い合わせ】 総務係 ☎924-9105

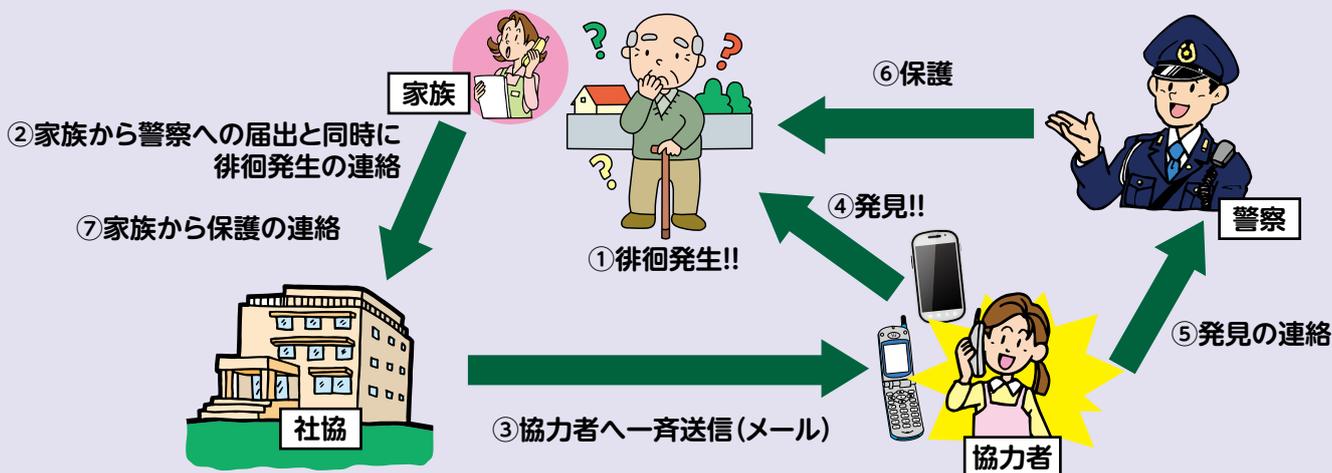
徘徊・見守りSOSネットワーク事業のご案内

市社会福祉協議会では、平成24年度から「徘徊・見守りSOSネットワーク事業」を運用しています。この事業は、徘徊の恐れのある認知症高齢者や障がい者などが徘徊された際に迅速に見つけることを目的としています。警察の行方不明者捜索の補完的な機能を果たすもので、見守りをする方の数が増えることや、家族の精神的な負担の軽減につながるなどのメリットがあります。

仮に徘徊があった場合には、事前に登録した協力者へ本人情報などとともに顔写真をメールで送信します。協力者が徘徊者を見かけられた場合、明石警察へ連絡していただき保護するという流れです。協力者は介護事業所職員や民生児童委員など福祉関係者にご協力いただいています。

登録者数は、平成26年12月現在で64名、また協力者は220名となっています。

登録希望の方は、以下までご連絡ください。



【お申し込み・お問い合わせ】 地域福祉係 ☎924-9105

市立総合福祉センターからのお知らせ

総合相談窓口開設にともなう総合福祉センター改修工事について

総合福祉センターでは、本年4月1日に「高齢者・障害者の総合相談窓口（（仮称）明石市後見支援センター、明石市社会福祉協議会地域包括支援センター及び明石市基幹相談支援センター兼障害者虐待防止センター（現在市役所本庁舎1Fに設置））」が設置されることにともない、現在建物1階と屋外駐車場の改修工事を実施しています。工事が本格化をしていることにより、一部の貸室の利用停止、施設内外の通行制限、騒音・振動の発生、工事車両の出入り等でご利用の皆様及び近隣の皆様には大変ご不便とご迷惑をおかけしておりますが、工事終了までの期間、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

■工事期間 平成27年3月末まで

■工事時間 月曜日から土曜日の午前8時～午後6時ごろ

■工事内容 ・総合福祉センター1階の改修 ・北側駐車場の改修

※工事箇所等の詳細については、当協議会のホームページをご参照ください。

（仮称）明石市後見支援センター事業について

総合福祉センターに、4月1日開設予定の（仮称）明石市後見支援センター（以下「センター」）について、ご紹介いたします。

1) 背景

近年、社会の核家族化・少子高齢化が急速に進展するなか、高齢者のみの世帯や一人暮らしの高齢者が増えてきています。認知症等によりひとりでは身の回りのことや金銭管理ができなくなったり、福祉サービスを活用することができない方や、障がい者の方々の意思決定を支援しその方々の権利を擁護するために成年後見制度が創設されました。

今後さらなる少子高齢化社会の進展にともない、ますます同制度の利用が高まると予想されます。

そこで、明石市社会福祉協議会では、明石市より委託を受け、平成27年4月にセンターを総合福祉センター1階の総合相談窓口に新設し、各種相談をはじめ、後見受任、市民後見人の養成や同制度の普及啓発などを行います。

2) センターの目的

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない人や、支援や援護を必要とする人が地域で安心、安全に生活を続けることができるように、本人主体の観点から後見制度の利用や権利擁護に関する支援を行います。

3) 事業の概要

センターでは、後見制度を利用するための手続きなどについてアドバイスや情報提供を行います。職員が相談を受けるほか、専門職による相談会を実施します。その他、市社会福祉協議会による法人後見や市民後見人等の養成講座を実施し、後見制度についての広報・啓発や研修を行うなど後見制度の普及に取り組みます。

◆後見制度って…？

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が不十分な方に代わって、成年後見人等が財産の管理や様々な契約やサービスの手配を行い、本人の生活を支援する制度です。

◆後見制度でできること

- 銀行など金融機関との取引
- 資産（不動産、有価証券、現金等）の管理
- 収入・支出に関わる各種手続き、管理（年金・保険など）
- 医療や福祉サービスに関する契約や費用の支払い
- 介護保険などの利用手続き
- ほか

ARTSHIP明石2014が開催されました

昨年12月3日(水)から7日(日)までの5日間、市立文化博物館でARTSHIP明石2014が開催され、延べ1,300名を超える皆様が来場されました。明石市に縁のある障がいを持って生きる方々のアート作品が展示の中心となっており、全155点が出品されました。また会議室では、動画「アイテノココロ」を上映し、作品だけではわからない、出品者のアート展に込めた思いや一人ひとりの人間性を紹介しました。他に、物品販売や、ロビーコンサートの開催等、大いに盛り上がるイベントとなりました。



共同募金・歳末たすけあい募金にご協力ありがとうございました



昨年10月から始まりました赤い羽根共同募金、また12月に実施しました歳末たすけあい募金にご協力いただき、ありがとうございました。

共同募金につきましては、12月末日現在、17,218,293円の募金が集まりました。自治会、民生児童委員をはじめ、各職場、地域、学校などで募金にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

共同募金は、来年度に実施する高齢者福祉活動、障がい者福祉活動、児童青少年福祉活動など、さまざまな地域福祉活動に活用させていただきます。

また、歳末たすけあい募金につきましては、12月末日現在、2,502,242円の募金が集まりました。募金は、年末に実施されたボランティアグループによる高齢者や障がい者を対象とした友愛訪問やクリスマス会などの集いへの助成、障がい者施設や福祉団体の年末行事への助成のほか、在宅の寝たきり・認知症高齢者への見舞品の配布、3月に卒業する母子父子家庭児童生徒、交通・災害遺児への見舞品の配布などに使わせていただきました。



インフォメーション

「車いす」を貸出しています

市社会福祉協議会では、在宅で介護を必要とする方の生活を支援するため、総合福祉センターとコミセンなどの地域の貸出場所で、「車いす」の無料貸出しを行っています。ぜひご利用ください。

| | | |
|---------|----------|-----|
| 貸出の限度期間 | 総合福祉センター | 3ヶ月 |
| | 地域の貸出場所 | 2週間 |

※地域の貸出場所（コミセンなど）は市社会福祉協議会のホームページに掲載しています。
HPアドレス <http://www.akashi-shakyo.jp>

家庭で使わなくなった福祉機器を提供してください。

市社会福祉協議会では、ご家庭で使わなくなった電動ベッド、車いす、シャワー椅子などの福祉機器の提供を受け、必要な方に無償で譲渡する「福祉機器リサイクル事業」を行っています。ご家庭で使わなくなった再利用が可能な福祉機器がありましたら、ご連絡ください。

お問い合わせ 市社会福祉協議会 在宅福祉係 ☎078-924-9105

職員メッセージ

私事ですが、昨年40歳となり、論語でいう不惑の歳を迎えました。介護保険料の支払いも始まり、いよいよ人生の折り返しを迎えたことを改めて認識しました。いずれ、誰かの助けをお借りしなければならない時がくるのかなあとしみじみ思いつつ、福祉に携わる身としては、今誰かのためにできることをできる範囲で頑張っていきたいと思っています。まずは、より良い広報紙面を作れるよう取り組んでいきます。（総務・N）

【映画上映のご案内】

『ペコロスの母に会いに行く』

～認知症の母みつえとバツイチ・ハゲちゃびんの僕
いとおしくて、ホロリ切ない 僕らの毎日。

だいじょうぶ。なにかと不安もおありでしょうが、笑いと愛をお届けします。～

- 日時：2月25日（水） ①10：30～ ②13：30～
※全席自由席。満員の場合は、入場制限をすることがあります。
- 会場：アワーズホール 明石市立市民会館大ホール
(JR・山陽「明石」駅から徒歩約15分またはバス約5分)
- 料金：一般1,300円 シニア・障がい者1,100円 しおさいクラブ会員前売800円

※右下の特別割引券を切り取ってお持ちいただくか(コピー可)、「あかしの社会福祉」を見た受付けでお申し出いただくと、特別料金800円でご鑑賞いただけます。

- 主催：『ペコロスの母に会いに行く』を観る会
(電話：078-331-6100)
- 共催：アワーズホール・明石市立市民会館
(電話：078-912-1234)
- 後援：明石市社会福祉協議会
- 協力：明石シネマクラブ

キ---リ---ト---リ---セ---ン

ペコロスの母に会いに行く

2月25日(水) 明石市立市民会館大ホール

明石市社会福祉協議会
特別割引券(当日券用)

この割引券を切り取って上映日にご持参ください。

おひとり **800** 円でご覧になれます。

※1枚で3名様まで割引します。